

# 富士フィルムグループのネイチャーポジティブに向けた取り組み

## 富士フィルムのDNA：環境保全、そしてステークホルダーとの誠実なコミュニケーション

- 製造に清浄な水と空気が不可欠な写真フィルムを祖業として創業(1934)  
製造時に使用する水は自然から「お借り」して「お戻しする」
- 撮影前に試すことのできない写真フィルムは  
お客様に「信頼」を買っていただく商品



創業の地  
神奈川事業場 足柄サイト



1934



2023

2030

気候変動への対応をはじめとする  
2030年度に向けた環境目標を設定  
SVP2030

2040

自社使用  
エネルギー起因の  
CO<sub>2</sub>排出ゼロ

- 事業活動を通じて社会課題の解決に貢献する  
CSR計画 Sustainable Value Plan(SVP) 2030
- お客様への製品・サービスの供給責任に加えて、  
イノベーションで環境負荷の低いシステムを社会へ提案
- 事業構造転換を、自然資本に対してより生産性の高い  
事業ポートフォリオにつなげる

# 富士フイルムグループのネイチャーポジティブに向けた取り組み

## 富士フイルムグリーンファンド：地域それぞれの自然を活かし、次世代へつなげていく

- 創立50周年記念事業として、社会に対する謝意を示すため10億円を拠出し公益信託を設立(1983)  
「自然環境保護」をテーマとした日本の民間企業初の公益信託
- 当社が大切にしてきた「人と自然のふれあい」を支援し社会に広げていく
- 2022年までに、自然環境の保全や育成等に関する活動および研究 214件を助成
- 自然に関する最新情報や助成事業の経過・成果を機関紙“Green Letter”で発信



機関紙  
“Green Letter”

### 北海道帯広市「帯広の森 里山づくり」(2016-)

在来種の生態系回復に向けた  
分布モニタリング調査および  
外来種の間伐による森林整備活動



活動団体「エゾリスの会」



樹木調査

富士フイルムグリーンファンド

<https://holdings.fujifilm.com/ja/sustainability/activity/other-activities/social-contribution-activities/greenfund>